



くすい箱

発行

桐生厚生総合病院 薬剤部

発行責任者 河井 利恵子

編集担当者 小林 由佳

大手 直樹

矢古宇 由佳

第50回目のテーマは、“手術前に中止するお薬”についてです。

安全に手術を行うためには万全の体制で臨むことがとても大切です。緊急の場合を除いて、手術の予定をたてる際には、出血の増加をおさえるために、飲んでいるお薬をあらかじめお休み（休薬）することがあります。ただし、手術の種類によっては、休薬する必要がない場合や患者さんの状態によっては休薬しないほうがよい場合もあります。休薬にあたっては、患者さんの状態や出血の程度を考えて医師が判断していますので、ご自分で判断せずに医師の指示に従ってください。

自分の飲んでいるお薬は大丈夫かな？と心配な方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで、今回は手術前に休薬をする場合のあるお薬とその理由について紹介していきます。

なぜ中止しないといけないの？

血液をサラサラにする抗血小板薬や抗凝固薬は手術前にあらかじめ休薬を検討する薬の1つです。これらのお薬は血液が固まるのを防ぎ、細い血管の目詰まりを予防することができるため、脳梗塞や狭心症、心筋梗塞などの治療や予防のために使われています。

手術や処置の種類によっては、出血を増やしてしまい、術中や術後の経過に悪影響を及ぼす可能性があるため、休薬を考える必要があります。

中止を検討する主な薬剤

下の表は、当院で手術前に休薬を検討している主なお薬です。それぞれのお薬の効き目の長さ、手術の種類、患者さんの状態などから休薬するかどうかを判断していますので、必ず医師の指示に従ってください。

なお、緊急で手術や処置を行わなくてはならない場合には、休薬をしないことがあります。

抗血小板薬

成分名	商品名
アスピリン	バイアスピリン®
クロピドグレル	プラビックス® クロピドグレル®
プラスグレル	エフィエント®
チクロピジン	パナルジン® チクロピジン®
シロスタゾール	プレタール® シロスタゾール®
イコサペント酸	エパデール® イコサペント酸エチル®
ω-3 脂肪酸エステル	ロトリガ®

抗凝固薬

成分名	商品名
ワルファリン	ワーファリン®
リバーロキサバン	イグザレルト®
エドキサバン	リクシアナ®
アピキサバン	エリキュース®
ダビガトラン	プラザキサ®

※赤字は当院採用薬です



ロトリガ® と
イコサペント酸エチル®は
高脂血症の治療薬として
も使われています！

📌 健康食品やサプリメントにも注意が必要です！

健康食品やサプリメントの中には、手術時の出血を増加させてしまうものや麻酔薬の効果を増強させてしまうものがあります。健康食品やサプリメントはドラッグストアやインターネットなどで気軽に手に入れることができる反面、知らない間に今飲んでお薬と互いに影響を及ぼしあうこともあるため注意が必要です。

また、自分が飲んでいるサプリメントや健康食品に血液をサラサラにする効果があるということを知らない方も多くいらっしゃいます。ご自身の飲んでいる健康食品やサプリメントにどのような効果があるのか、今一度確認してみてください！



注意すべき成分	期待される主な効果	手術や処置などに及ぼす影響
DHA・EPA	中性脂肪・コレステロールを下げる	出血の危険性を増強する恐れあり
ショウガ	抗炎症作用、制吐作用	
朝鮮人參	動脈硬化予防、血糖低下作用	
ニンニク	滋養強壯、降圧作用	
ビタミンE	血流促進作用、抗酸化作用	
エキナセア	細胞性免疫の活性化	ステロイドの作用減弱、肝機能障害
セントジョーンズワート (セイヨウオトギリソウ)	抑うつ症状やイライラ、不眠を改善	麻酔薬の効果延長

📌 薬の確認には“おくすり手帳”が大切です

どのようなお薬を使用しているのかを確認するためには、おくすり手帳が必要になります。

おくすり手帳をもつメリット

- 現在、服用している薬がひと目で分かります
おくすり手帳は服薬情報を把握する上で、非常に重要な情報源です！特に複数の医療機関にかかっている場合や、お薬をいくつも服用している場合は、おくすり手帳があることで管理がしやすくなります。
- 伝え忘れを防止できます
一つ一つ、何の薬を飲んでいるのかを覚えておくことは大変だと思います。おくすり手帳があれば、うっかり医師や薬剤師に服用していることを伝え忘れてしまっても気づくことができます。
- 市販薬、サプリメントについても書いておくと良いです
医療機関で急に「現在、飲んでいる市販薬やサプリメントはありますか？」と聞かれても名前が思い出せないことがあると思います。常備薬についてもおくすり手帳に記載しておくことで伝え忘れを防止できます。



入院時に再度、薬剤師がお薬の確認をしていますので、入院するまでの間にお薬の変更があった場合には、その旨を伝えるようにお願いします。

次回は、“慢性腎臓病について”をテーマに2019年3月発行予定です。

参考文献

- ・循環器疾患における抗凝固薬・抗血小板療法に関するガイドライン（2009年改訂版）
- ・聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 薬剤部医薬品情報室 「手術に影響を及ぼす可能性のある健康食品、サプリメント一覧」